

洲原大神教會贊辭集

特55

851

014306-000-2

特55-851

洲原大神教會贊辭集

奥屋 求馬/著

M12

ABB-0649



東京圖書館

新門 二七函

部 一四架

類 二號



序

神祇ニ仕フルノ道大凡祓ヲ修シテ罪咎ヲ祓除スルト  
神明並ニ福先ヲ拜シテ以テ安穩ニ世ヲ經過スルノ恩  
頼全謝儀奉ルトノ二義ナリ而シテ其二義ヲ修スルハ  
則顯世ニハ健全富榮ヲ得幽世ニハ幸福快樂ヲ求ムル  
ノ道ナレバ世ニ在トアル人必ズ此二義ヲ修セザル可

特55 851

ラザルハ言ヲ俟タザルナリ然リト雖世間ニハ恒ニ産  
業繁劇ニシテ之ヲ修スルノ時間ヲ得ザルヲ憂フルモ  
ノ多カラシ故ニ今夫等ノ人ノ爲ニ簡易ナル祓詞又祝  
詞ヲ撰ビ之ヲ刊行シ産業繁劇ノ人ト雖僅々ノ時間ニ  
修セントスルノ便ニ備ントス冀クハ心有ル人朝夕懈  
ルコナク之ヲ修シテ常ニ内外ノ罪穢ヲ祓除シ心身共  
ニ清潔ニシ報本反始ノ敬禮ヲ盡シ以テ萬物ノ靈タル  
ヲ全クシ益神明ノ保護ヲ得顯世ニハ健全富榮ニシテ  
幽世ニ歸シテハ無究ノ幸福快樂ヲ受ラレシト云レ  
此篇ハ前條ノ如ク産業繁劇ニシテ時間ヲ費スコトヲ得  
ザル人ノ爲ニ刊行スルノミ苟モ産業ノ間ヲ得ルノ人  
ハ神官ニ就テ其式ノ嚴肅ナルヲ原テ之ヲ修シ以テ神  
明ノ吾人ヲ愛撫シ賜フノ恩賚ニ報答スヘシト云爾



ハ神官ニ就テ其式ノ嚴肅ナルヲ原テ之ヲ修シ以テ神

明ノ吾人ヲ愛撫シ賜フノ恩賚ニ報答スヘント云爾

洲原大神祠官兼

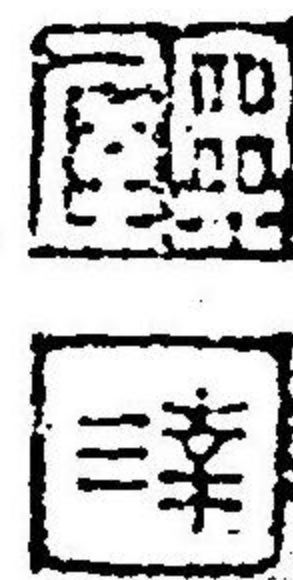
柳野村攝神社祠官 兼

小瀬村八幡神社祠官

訓導

明治十七年天長節ノ日

奥屋求馬誌



毎朝夕良手ヲ洗ヒ口ヲ漱ギ再拜シテ手

ヲ拍チ左ノ後ヒ祝詞ヲ順次ニ唱フベシ

左ノ詞ハ後ノ詞ト稱シテ罪咎ヲ後ヒ不淨ヲ清

ムルノ神語ナレバ此語ヲ唱フル片ハ身軀ノ穢

惡ヲ去リ其身清淨ニナルナリ然レバ毎朝夕神

拜ノ前ニハ勿論平常ニモ何事ニモアレ心中ニ

スマヌト有ル片ハ必ズ是ヲ唱ヘテ其身ノ罪穢

ヲ後ヒ清ムベシ但シ三度五度七度幾數返ニテ

モ心ニ任ヌ

天神地祇祓賜比清賜陪

毎朝夕洲原大神ヲ再拜シテ手ヲニツ拍チ左

ノ祝詞ヲ白シ畢テ又再拜拍手以テ例トスベシ

掛卷 毛 畏 支 洲原大神 乃 大前

手 慎 美 敬 比 皇神等 乃 高 久 貴

支 恩 賴 尔 依 豆 浦安 久 樂 久 有

徑 留 喜 平 喜 美 射 美 奉 拜 豆 合



支キ恩ミタマノユ賴ル尔ニ依ヨリ豆テ浦ウラ安ヤス久ク樂タヌ久ク有アリ

經フ留ル事コト乎ヲ嬉カレシ美ミ謝カダシケナミ奉フ拜ガミマツリ豆テ今イマ

毛モ往ユク末サキ毛モ大オホ御ミ慈メ惠グ乎ヲ令カハ蒙フ給シメタマヒ

豆テ家ヤ内ヌチ真マ幸サキ久ク父チ母ハ親ウカラヤカラ族メ妻メ子コ

僕ヤツ等コラ尔ニ至イタル迄マデ尔ニ命イフ長チナガ久ク病ヤマシキ事コト無ナシ

久ク子ウ孫ミ彌ノ繼コノ々イ尔ニ家イ門ヘ乎ヲ令タチ立チカエ

榮シメ御ミ年トシ豐ユタカ尔ニ世ヨノ富ト世ヨノ饒ニギハヤヒ乎ニ不ア足カヌ

事コト無ナシ久ク令ユキ得シメ賜タマ比ヒ夜ヨノ守マモリ日ヒ護ノ尔ニ

守マモリ幸サキ閉ハ賜タマ止ト恐カシ美コ恐シ毛モ白カシ須マ

次ニ産土神社ノ方ニ向ヒ再拜シテ手ヲニツ拍子左ノ祝詞ヲ白シ畢テ又再拜拍手毎朝例トスベシ

此コノ里サト乎ヲ總ス守マモリ給タマフ布マフ産ウ土ス大オホ神ガ乃ミ

御ミ前マヘ乎ヲ慎ツ美シ敬キ比マ畏カレ美コ畏シ毛モ

拜ヲ美ガ奉ミ里マ豆ツ白リ佐テ久マ過ウ犯チ須オ事カ



拜美奉里豆白佐久過犯須事

乃有牟乎婆見直志聞直志坐

豆家尔毛身尔毛枉神乃枉事

不合在今毛往前毛彌益尔恩

賴手幸開賜開止乞祈奉良久

止白須

次ニ家ノ神棚ニ向ヒ再拜シテ手ヲニツ拍チ  
左ノ祝詞ヲ白シ又再拜拍手スベシ

此乃神床尔令坐奉里豆日尔

異尔稱辭竟奉留大神等乃御

前平慎美敬比拜美奉里豆天

神地祇等乃御心祖親乃心尔

不令違手乃躡足乃躡不令爲

家内乃者等已我乖々不令在



家内乃者等已我乖々不令在

朋友親族佗諸人乎毛睦比集

家業乎弥進尔進賜比豆過

犯須事乃有牟乎婆見直志聞

直志坐豆夜止無久日止無久

守幸聞給聞上白須

何レノ神社ヲ拜スルニモ再拜シテ手ヲニツ  
拍子左ノ祝詞ヲ白シ又再拜拍手スヘシ

何々 止稱辭竟奉留大神乃御

前平慎美敬比拜奉里豆過犯

須事乃有牟乎婆見直志聞直

志坐豆家尔毛身尔毛枉事不

令在夜守日守尔護幸聞賜聞

止畏美畏美毛白須



止ト畏カシ美コミ畏カシ美コミ毛モ白マウ須ス

祖先ノ靈櫃ニ向ヒ再拜シテ手ヲニツ拍子  
左ノ祝詞ヲ白シ又再拜拍手スベシ

遠トホ都ツ御ミ祖オヤ乃ノ御ミ靈タマ代ヨ々、乃ノ祖ミ等オヤタチ

親ウカラヤカラ族ヲ乃ミ御タマ靈スベ總テ且コ此ソ祭マツ屋リヤ尔ニ鎮イハヒ

祭マツ曹レ御ミ靈タマ等タチ乃ノ御ミ前マ手ヲ慎ツ美ミ敬ヤマ

比ヒ拜ヲ奉ロガミマツ里リ豆テ家イ尔ニ毛モ身ミ尔ニ毛モ枉マ

事コト不アラ令シ在ズ日ヒ尔ニ異ケ尔ニ守マ給モ比ヒ彌ヤ

彦ヒ乃コ次ツ々ギ彌イ益ヤ々マ尔ニ令サ榮カ賜ハシ比ヒ

豆テ息イ内チ長ナ久ク御ミ祭マツ善ウ久ク仕ツ奉カ良マツ

志シ米メ賜タマ間ヘ止ト畏カシ美コミ畏カシ美コミ毛モ乞コ祈ヒ

白マ須ス

上件被詞又祝詞ハ實ニ簡易ニシテ之ヲ修スルニ如何ナル繁劇ノ人ト雖其時間ヲ得サルモノナラシヤ深ク信ジテ之ヲ修シ必ズ懈ル可ラザルナリ今神祇ヲ崇奉シ祖先ニ敬事スルハ人間ノ當然ニシテ則報本及始ノ



シ祖先ニ敬事スルハ人間ノ當然ニシテ則報本及始ノ  
道ナル理ノ萬一ヲ言シ夫神明ハ天地ノ主宰萬物ノ祖  
ニシテ世ノ中ニ有ラユルモノ悉皆神明ノ恩頼ニ依ラ  
ザルハナシ中ニモ人ハ萬物ノ靈ニシテ躰ヲ父母ニ稟  
ルノ時恃ニ仁慈ノ賜物アリテ之ヲ魂ト云フ多満トハ  
則神明ノ賜物ト云フ意ナリ其魂則人身ノ主宰ニシテ  
人倫ノ道ヲ始メ智覺思想ヨリ五官ノ活動ニ至ルマデ  
皆之ガ指揮ニ由リテ其宜ニ適ヒテ自ラ身體平安吾人  
安樂ヲ受ルコトヲ得又饑ヲ凌グニ食物アリ寒ヲ防グニ  
衣服アリ其他耳目ヲ樂マシムルモノニ至ルマデ委タ  
世ニ備テ不足ヌコトナキモ其本源ヲ原ヌレバ皆神明ノ  
恩賚祖先ノ遺澤ニ由ラザルナシ豈報本及始ノ意ヲ躰  
シ神明ニ奉事セザルモノハ之ヲ無道ノ人ト言ハザル  
可ケンヤ噫此真理ヲ解スルヲ其本ヲ知ルト云ヒ之ヲ  
身ニ修ムルヲ本分ノ性ヲ尽スト云フベキナリ冀クハ  
世間ノ人悉ク此道ヲ了知シ神明ノ深意ヲ體シ神明ノ大道  
ヲ修シ神明ノ恩賚ヲ仰ギ富貴壽康ノ域ニ至リ子孫八十  
繼ニ至ルマデ益其家門繁榮シ死テハ神界ニ歸シテ長  
ク幸福快樂ヲ受ラレニイコト穴賢

明治十一年十月二日 奥屋求馬又識

定價七錢

明治十一年三月二十六日御届

著者兼

同

四月一日出版

出版人

奥屋求馬

美濃國

武儀郡

原村

居住



